

第 2 学年「体育」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 思いきり体を動かすことが大好きな児童が多く、走る、跳ぶ、登る、などの基本的な動きが身に付いてきている。
 - 休み時間に進んで体を動かす遊びを楽しんでいる。
- 課題**
- ▼ 基礎的な運動感覚の定着に個人差があるので、運動遊びを通して、様々な運動の基になる運動感覚を十分に身に付けていく必要がある。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 運動遊びを通して、運動の楽しさや気持ちよさを十分に味わうことができる。
- ◇ 基本的な動きを身に付けることができる。
- ◇ きまりを守り、安全に気を付けて誰とでも仲良く運動することができる。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 様々な運動の場や環境を設定することで、進んで活動に取り組めるようにする。
- 抵抗なく主運動につなげられるように、主運動につながる準備運動を行う。

言語活動の工夫

- グループでの活動では、互いにアドバイスをし合ったり、作戦を選んだりする時間を確保する。
- 学習カードを活用して、自分の活動の様子を言葉で表現できるようにする。

ICT活用の工夫

- 自己の運動の様子を動画撮影して、客観的に振り返ることで、よりよい運動の仕方を模索できるようにする。

課題解決力育成の工夫

- 自己の運動の様子を振り返り、自分の課題に応じた場を選択できるようにする。

達成目標

- 運動遊びの行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。
- 運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。
- 運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、健康・安全に留意したり、意欲的に運動することができる。